空と遊ぶ霧島

霧島は空への玄関口。国際線も就航する溝辺鹿児島空港は世界につながっています。高千穂の雄大な姿をバックに大きな翼が行き交う空港。

3百人を越える旅人を乗せた大型機の合間に小さなプロペラ機が行き交うのも特徴。鹿児島空港には隣接して、手軽に空を楽しめる遊覧飛行やパイロットライセンスを取得できる「新日本航空」さんがあります。

「飛べない豚はただの豚さ」。という台詞を思い浮かべながら、私は航空撮影のためセスナの後部座席に座りました。霧島市で住まいづくりする鎌田建設さんの本社などを航空撮影。新日本航空さんは写真家にも頼りになる存在。30分間、霧島の街を独り占めした気持ちでした。

雄大な霧島を眺める空の散歩だけでなく、手軽な飛行機見学もできるのが魅力。子どもたちの空へのあこがれを高めてもらえるところです。

鹿児島空港から霧島市国分中心部へ向かう道路沿い、滑走路のエンド方向に進むと新日本航空さんがあります。

ここでは遊覧飛行や訓練飛行のほか、タイミングが合えば飛行機の見学ができます。飛行機を整備する格納庫には訓練飛行などに使われるセスナが羽を休めていました。

遊覧飛行のセスナは3人が搭乗できるタイプ。10分の体験飛行もできるそうです。

見学は「よい子」なら小さな子どもでも可能。「触ってはいけない」を守れるならば、小さな子どもでも格納庫で飛行機械を体験できます。許可された飛行機に触れたり、滑走路脇で離着陸する飛行機を経験できるダイナミックなひとときも。日本国内各所で活躍する機体の整備もしていますから、レアものの飛行機に出逢えることも魅力。

ここだけにしかない飛行機もポイント。（ここからはマニアックな記載ですみません）。エンジンが二つ付いた双発の「アイランダー」がここにはあります。以前は種子島と屋久島の間を同型機が定期運行。飛行機らしい楽しさに満ちます。

日本国内では他所で見ることができなくなった飛行機、機体はイギリスの警察で使用されたもの。計器飛行訓練のほか、大人数の体験飛行に利用されているそうです。片持高翼双発は下方視界が優良。道路の監視に使っていたのでしょうか。大きなバブルグラスが特徴です。アイランダーとの出逢いに喜びは絶大。双発エンジンの奏でるアリアは心に染みます。ブリテンノーマンアイランダーは世界の辺境地で大活躍した機体。霧島の雄大な空をゆったりと飛行する姿は圧巻です。

見学や体験飛行のあとには、お土産の飛行機グッズも販売。「せっかくならライセンス取っておきたかったなぁ」と若い日に操縦免許に挑戦した私は、空の感触に浸りながらの取材でした。

【取材協力】NJA 新日本航空｜☎ 0995-58-2211　霧島市隼人町西光寺 3525-1